

応募方法

1人俳句三句、短歌三首、川柳三句以内（未発表のものに限る）。はがきに作品・住所・氏名・応募する壇名をはっきり書き、〒989-0292 白石市大手町1-1 白石市総務課へ。はがき一枚に短歌、俳句、川柳の併記は不可。毎月15日締め切り。Eメールでも応募できます。(☐koho@city.shiroishi.miyagi.jp)

市民文芸

歌壇

岩崎 聰之介 選

大根の土寄せに汗息へるへ何処よりか微風野菊句はす  
歩行訓練杖突く夫よ頑張ろう歩調を合わせ秋の道ゆく  
早いものでダムの仕事も七年目堤体壁に蔦茂く這う  
をなごなり不惑の息に初の赤子抱くに有り難さただ募ららし  
寺崎 悦子  
それぞれの心を短歌で開き合う歌会で見つけた  
老いの生き甲斐  
齋藤 巖  
久しぶりに車の旅ぞ龍舞の海の青さにこころ洗わる  
阿部かつみ  
地区の作業芋煮で誇う敬老会おしゃべり楽しく元気頂く  
遠藤 舞  
数葉の昭和の文は七母が文字会いたくなくなり久々に見つけ  
佐藤 啓子  
猛暑にも負けずに実るいちじくの熟れたる三つほど生でいたたく  
佐藤ひろ子  
久しぶり会う顔みんな綻びて笑顔笑顔の里の寄り合い  
木村 芳香

俳壇

山家 弘子 選

老夫と早朝散歩小鳥来る  
捨て猫を飼い十五年温め酒  
山の畑突然落葉しぐれかな  
雲梯のひと梓よりの鯛雲  
コンバイン倒れし稲も刈り進む  
山田 もも  
大庭美智子  
菊地せつ子  
佐川 鉄輪  
平間 幸恵

柳壇

四籠 英夫 選

共生の道有り無しやクマ出没  
吸った息少し冷まして吐いてみる  
労いの言葉一つでやる気出る  
作句する考えあぐねる吾ロダン  
金木犀午後の茶の間に香る花  
米不足むすび試食に安堵する  
米高値気になる末の米作り  
今年こそ骨折しないと誓う吾  
新総理対策如何に女性初  
静視する写真が我に問いかける  
末吉アツ子  
佐藤 啓子  
志村かつい  
大庭美智子  
遠藤 舞  
星 明  
遠藤 松雄  
小室アイ子  
菊川いつ子  
木村 芳香

評一 一首目、仕事の合間の一寸した感を逃さずに詠んで居られる。二句と三句との繋ぎが巧い。  
二 一首目、初句、破調だがこれでいい。頑張ろうは付き添う作者の心の内。  
三 一首目、「堤体壁」は専門用語。ダムの表の巨大な壁。三句目が、茂く這うに密接。  
評一 一首目、クマ出没に国までが対策に乗り出す現実。木の突の大凶作が原因とも言われる。「クマだっって好きで出て来るわけじゃない」。  
二 一首目、体温より高い気温の日もあった今年の夏。吸った息を冷やして吐く表現に、暑さに閉口している様子が表れている。  
三 一首目、人は寝て育てると言われる。「して見せて言っただけで育ててみよ。寝てやらねば人は育たず」とか。



▲国道4号線で清掃活動を行う参加者たち

国道4号線をきれいに  
白石蔵王エコフォーラム清掃ボランティア活動

11月14日、社会問題化している国道4号越前・斎川地区の尿入りペットボトル問題を解消しようと、4回目となる白石蔵王エコフォーラムによる清掃ボランティア活動が行われました。この日は、構成企業や市職員など30人が参加。尿入りペットボトル105本を含む可燃ごみ約60キロを回収しました。



▲親子でホクホクのサツマイモを堪能

みんなで味わう秋の実り  
第二幼稚園 焼き芋会

11月6日、第二幼稚園で毎年恒例の焼き芋会が行われました。園児たちが心を込めて育てたサツマイモを、畑の先生や南町長寿会の皆さんと一緒に焼き上げました。できたてホクホクのサツマイモをほおばり、「甘くておいしい!」と笑顔いっぱいの子もたち。秋の味覚を通して、地域とのふれあいも深まる楽しいひとときとなりました。



1\_福祉団体による和太鼓演奏が会場を盛り上げました 2\_行列ができた白石産ササニシキ新米すくいどり 3\_認定農業者連絡協議会による餅まきは大盛況!

実りの秋の風物詩

第45回白石市農業祭・白石市福祉まつり2025

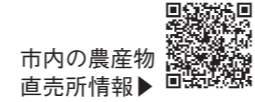
11月8日・9日の両日、本市の秋の風物詩、農業祭と福祉まつりがホワイトキューブで同時開催されました。農業祭では、新米・新鮮野菜・果物などの地場産品やA5ランク白石産仙台牛の特別販売、大人気の米俵相撲が行われ、参加者には白石産新米ササニシキを贈呈。さらに、今年は6年ぶりに紅白餅まきが復活したほか、

市内小学生によるミルク川柳、ころ柿づくり体験、姉妹都市の登別市・海老名市物産展などが行われました。また、福祉まつりでは、福祉団体によるステージ発表、車いす体験、市内の小中学校・福祉団体の作品展示、手芸作品・手作りお菓子・鉢花の販売などが行われ、会場は多くの来場者でにぎわいました。

Shiroishi Market フレッシュマーケット

～地元農産物の魅力を発信～

地元の農産物や直売所などの魅力をお届けします。  
～白石市農産物直売所連絡協議会は、地産地消を推進!～



▲オレンジ色の鮮やかな「柿のれん」

寒い季節を彩る「干し柿」

本市では古くから柿が栽培され、ころ柿などの干し柿づくりが行われてきました。干し柿づくりでは、皮をむいたあと軸枝に縄を結んでつるし、乾燥して渋みを抜き、干し柿が並ぶオレンジ色の鮮やかな「柿のれん」は絶景です。  
また、柿はビタミンA・C、カロテン、カリウムなどが豊富に含まれ、「柿が赤くなると医者が青くなる」ということわざがあるほど栄養価の高い果物です。  
本市産の干し柿は、馬牛沼産直センターやおもしろい市場などでの販売を予定しています。ぜひご賞味ください。

☎農林課 ☎22-1253